

令和7年度(2025 年度) 宝塚市立教育総合センター研究発表大会 発表内容

「生きる力を育む教育の創造」

日時:令和8年(2026 年)1月 26 日(月) 14:00～

1月 27 日(火) 14:00～

場所:宝塚市立教育総合センター 視聴覚室

I 趣 旨

宝塚市教育委員会

宝塚市立幼稚園、小・中・特別支援学校及び市委嘱研究員等の研究や実践の成果を募り、その成果をもとに研究協議を行い、教員の資質向上と市内教育の向上・発展に資する。また、保護者や市民に対して本市の教育実践を情報提供するとともに、市民の声を反映する機会とする。

II 時 程

1月 26 日(月)



13:45～	14:00～14:10	14:10～14:40	14:40～15:10	15:15～15:45	15:45～16:00
受 付	開会行事	発表1 質疑・応答	発表2 質疑・応答	発表3 質疑・応答	講評

1月 27 日(火)

13:45～	14:00～14:30	14:30～15:00	15:05～15:35	15:35～15:50	15:50～16:00
受 付	発表4 質疑・応答	発表5 質疑・応答	発表6 質疑・応答	講評	閉会行事

III 発表内容・講評

1月 26 日(月)

No.	研究主題・発表校等・発表内容	
発表 1	自らやりたいと動き出し、心つながる幼児の育成 ～心のときめき  があふれるための教師の援助～	長尾幼稚園
	自らやりたいと動き出す主体性のある幼児の姿の背景には、「心の揺れ動き」＝「心のときめき  」があると仮定し、幼児の内面理解を深めてきた。また、心のときめきが充実することで、幼児が意欲的に動き出したり、友達と楽しさやイメージが融合されて心つながるときめきになったりすることが分かってきた。そこで、私たちはパソコンのホワイトボード機能を用いながら日々カンファレンスを行い、幼児が心をとめかせ、主体的に遊びや生活を進め「ひと・もの・こと」と、心がつながる姿を目指し発達や遊びの深まりに応じた教師の援助や環境の構成の在り方を探ってきた。本発表ではその具体的な取組について報告する。	
発表 2	中学校 TGS(宝塚市版 GIGA スクール)モデル校の取組について ～小規模校における個別支援の充実～	西谷中学校
	本年度、本校は TGS 指定を受け、生徒理解に基づいた個別支援・指導の充実の研究・実践に取り組んだ。学校風土の把握ツール(hyper-QU)では、本校外の膨大なデータに照らし合わせることで、少人数の弱みを補った。また、同じような他のテスト等の結果と連携させ、より深い生徒理解を追求し、日々の教科指導等の生徒支援の充実を図った。このような実践やその過程で見られた校内での情報共有の取組みについて発表する。	
発表 3	学校や家庭に存在するアンコンシャスバイアス(UB)の自覚と解消を目指して ～チーム長尾小としての取組み～	教育研究課委嘱研究員
	誰もが自身の経験や育った環境、文化などから無意識のうちに認知の枠組みを作っていく。その枠組みが歪んだり偏ったりしていることもあり得る。そのような「無意識の歪みや偏り」のことを UB という。9月、次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方が示された。キーワードは『多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに』。この実現のために、柔軟で多面的な児童生徒理解が求められ、UB の自覚と解消が必須となる。 しかし、UB の自覚と解消は一人では困難である。自覚と解消のための方策の一つが、「他者との対話による自らの相対化」である。本校では、支援の必要な児童に対して、コーディネーターを中心としてチームとなり、ケース会議等を開いて、アセスメント・プランニング等を行う。チームで話し合うことは、多面的な角度からの意見と出会うことになり自分を相対化する契機となり得る。本発表では、ケース会議等を通して教員や保護者が自らの UB を自覚し解消にむけて思考するという場面の一端を取り上げ紹介する。	

講評 宝塚市教育委員会 学校教育部長 藤川 明人

1月 27 日(火)

No.	研究主題・発表校園等・発表内容	
発表 4	「やってみよう」を引き出す通級指導 ～つまづきのある子たちへのリズムアプローチ～	教育研究課委嘱研究員
	学習やコミュニケーションに困難さを抱える児童にリズムをきっかけにした通級指導や支援を実践した。音楽のリズムに合わせた運動や言語活動を通じて、姿勢保持や自己コントロール、コミュニケーション力を高めることを目指した。事例では、本人のニーズやアセスメントによる仮説をもとにしたリズムアプローチ、児童をとりまく関係者との連携、クラスワイドの取り組みについて発表する。	
発表 5	「ともに学び合う子どもを育てる」 ～豊かな表現力をめざして(オクリンクプラスを使用)～	小浜小学校
	小学校 TGS モデル校として、「オクリンクプラスの効果的な使用」と「学び合い」に重点を置き研究を進めた。本研究では道徳科において人権教材を扱った。児童一人一人が自分の考えを持ち、互いの意見を尊重し合いながら学びを深める過程において、タブレット端末を用いて、思考の可視化、意見の共有、振り返りの深化など、学びをより充実させる研究を行った。	
発表 6	自主と自律を育む学びの環境づくり ～デジタルとアナログの融合～	宝塚第一中学校
	本年度、TGS モデル校の指定を受け、「自主と自律を育む学びの環境づくり」を重視し、ICT×〇〇というテーマと共に授業改善に注力した。数学での論理的思考力の育成や、理科での意見交流、技術・家庭科での装置を使った課題解決プログラミング学習、体育の意欲的に取り組む学習など、各教科でデジタルツールを駆使し、生徒の自主性を引き出している。個別最適な学びと協働的な学びの試行錯誤を重ねることで、安心して挑戦できる土壌を醸成して、授業を行ってきた。その一端を報告する。	

講評 宝塚市教育委員会 学校教育部 教育支援担当次長 山下 昌裕

IV 参加方法

URL: <https://forms.office.com/r/a7UGsuAseK> または下記二次元バーコードよりお願いいたします。
※会場の収容人数の都合上、各日先着 30 名とさせていただきます。
締切:令和8年(2026 年)1 月 19 日(月)



V 問合せ先

宝塚市立教育総合センター（宝塚市教育委員会事務局 教育研究課 担当:寺岡）
〒665-0827 宝塚市小浜1丁目2番1号
TEL(0797)84-0946
E-mail : m-takarazuka0114@city.takarazuka.lg.jp